

地図を持って走り回れば、中山間地域にはお宝がいっぱい。

2015年3月28日(土) 長野県松本市
松本ロゲイニング 2015 Spring Stage

結果

家族

- 1 ケーズ 952点
- 2 ファイティング・ラビット 924点
- 3 じゃんきんじゃんきん 901点

混合

- 1 チーム Takigawa 1091点
- 2 Q&G 1085点
- 3 Milestones 1072点

女子

- 1 草食チョコっち 1063点
- 2 ザノービス 802点
- 3 MotohaCASSO 694点

男子

- 1 YamaP 1253点
- 2 YNO 料理塾 1157点
- 3 飛驒山岳会 936点

女子ソロ

- 1 櫻 留美 1135点
- 2 大崎真美 987点
- 3 尾崎亜矢可 877点

男子ソロ

- 1 松井勝美 1228点
- 2 奥村理也 1091点
- 3 小峰悦雄 1077点



フィニッシュ後、たまごかけ御飯とトン汁を楽しむ参加者たち

忘れかけられた村

松本市四賀地区。2005年3月までは東筑摩郡四賀村だった地域である。平成の大合併によって経済的に結びつきの強い松本市へと編入されたが、長野県の人でもそれほど訪れることはない地域だ。

ここはかつて善光寺街道が通り、養蚕で栄えた歴史がある。だが100年前に開通した鉄道は別のルートを通るようになり、幹線国道も今はこの地区を



里をゆく競技者。快晴の早春に澄み渡る風景。

通っていない。唯一高速道路が村の上空を通過するだけだ。もはや四賀地区に足を運ぶことは長野県の人でも少ない。

地域を挙げた取り組み

この地区の振興を願う商工会議所が、松本スポーツコミッションに働きかけて誘致したのが今回の松本ロゲイニング四賀地区開催だ。交通的にも不便な地区だが、松本駅からの直通無料バスを松本市から出してもらったり、早め早めの広報の結果、募集定員通り200名弱の人数が参加してくれた。長野県外からの参加者が全体の6割、女性が参加者全体の4割、参加年齢層は家族組から年配までという地域振興としては願ってもない参加者を集めることができた。

ザクザク！ 地域のお宝

見つめなおすと、この地域からお宝がザクザクと出てきた。

中山道と長野をつなぐ旧善光寺街道が通っていただけに、街道の雰囲気はたっぷり。文化財も豊富。本州の真ん中で出土したクジラの化石。長野県下最大を誇る福寿草群生地。素晴らしい北アルプスの展望。

この地区ではもともと有名なマツタケ。地元ブドウで作ったこだわりワイン。障害者支援施設で作ったパン。高級タマゴ。おいしいものはたくさんあ

る。

フィニッシュ後には、地元のお米に地元のタマゴを使ったタマゴかけ御飯が参加者に振る舞われた。使っている醤油も長時間かけて抽出した地元の醤油である。豊かな文化と風景、食文化がそこにあった。

ロゲイニングが地域の起爆剤

松本ロゲイニング2015四賀地区開催は、地域の起爆剤として少なからず機能したようだ。

ロゲイニングのコントロール候補は地元プロジェクトに挙げてもらった。地元も知らない山の中は木村が足でコントロール位置を探してきた。こうして地図に落とされた情報は地元の人でも初めて見るものが多かったようだ。

そして地域の宝をあらためて認識し、それを県外から多くの人が巡って喜んでくれている姿を見て、自分たちの住む地域に誇りを持ってくれたことが、今回の最大の成果である。

こうした地域振興活動の動きの中で今年の10月には数年途絶えていた地元の山岳ボッカレースが復活することが決まった。こうして地域の魅力がますます高まってゆけばよい。

(木村佳司)